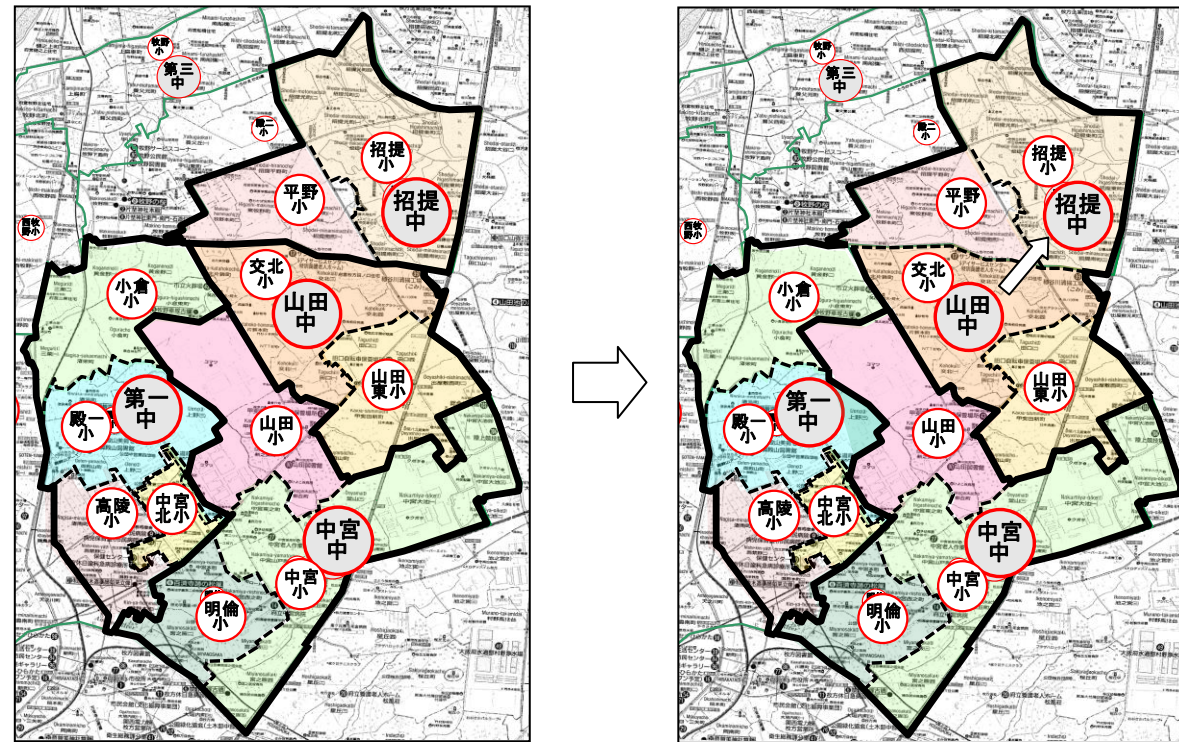


★ (方策番号) 中部R

(7) 山田中学校

- 招提中学校と統合する
ア. 招提中学校敷地に統合校を設置する。



1. 学校規模

(1) 学級数・児童数の将来推計
(現行推計)

		H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H35	H40	H45	H50	H55
山田中	学級数 (CL)	8 (1)	10	11	11	10	10	10	9	6	6	6	6
	生徒数 (人)	235 (1)	312	348	358	348	361	362	280	224	189	177	153
招提中	学級数 (CL)	11 (2)	12	11	11	11	12	12	12	12	9	9	9
	生徒数 (人)	381 (9)	413	393	408	390	426	424	448	396	357	339	334

(統合後の推計)

		H27	H31	H32	H33	H35	H40	H45	H50	H55
統合校 中学校	学級数 (CL)	16 (2)	20	21	21	20	18	15	15	15
	生徒数 (人)	616 (10)	738	787	786	728	620	546	516	487

(2) 住宅開発等の情報

- ・山田東小学校は、校区内に一部農地が存在するものの、多くは既存の住宅地であり、新規の大規模住宅開発は見込めない、また、国道1号より南部の区域についても市街化調整区域であり、新規の住宅開発は見込めない。
- ・交北小学校及び山田中学校の周辺は、市街化調整区域であり、多くの農地が存在しているが、その他の地域は既存の住宅地であり、用途地域等から新規の住宅開発は見込めない。

2. 施設規模

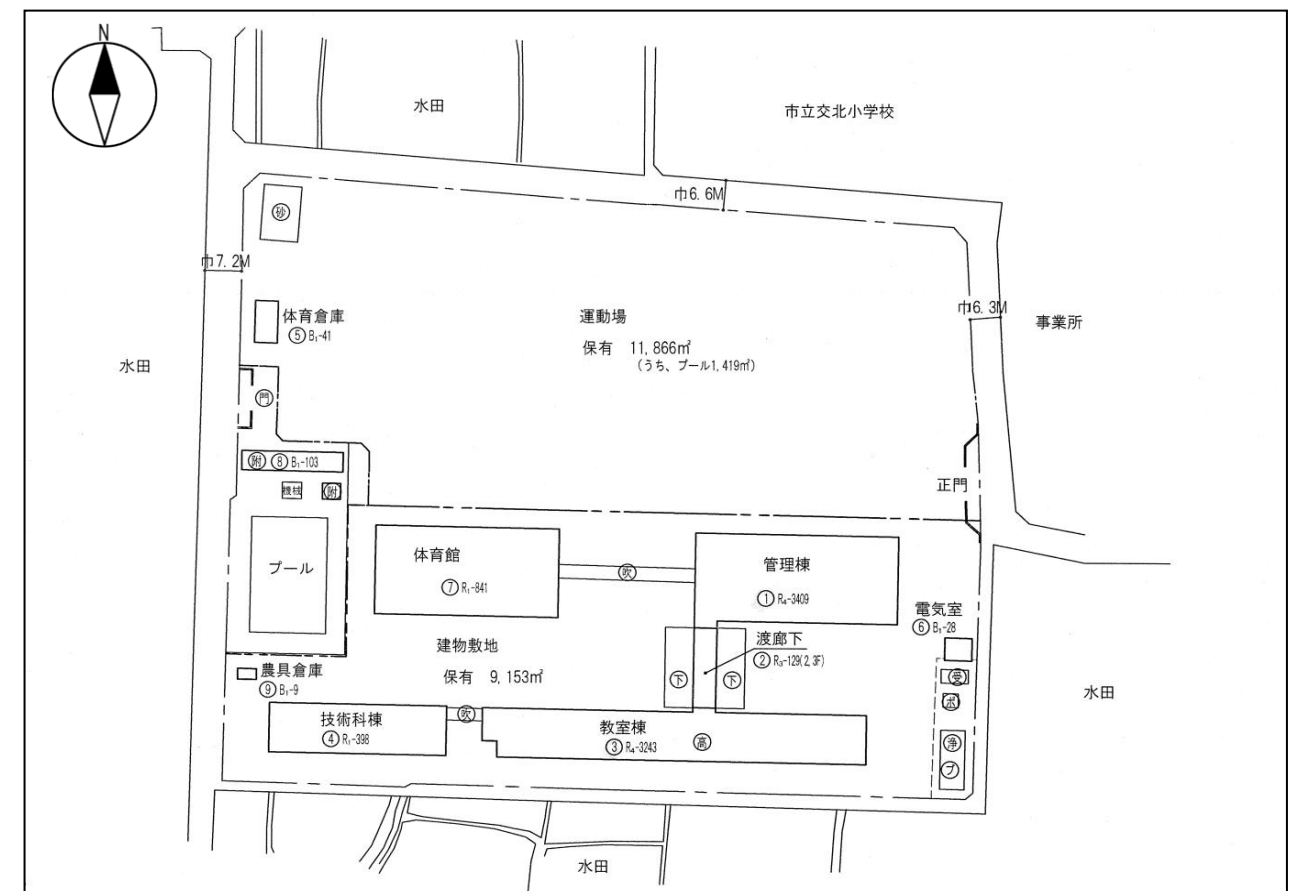
(1) 学校用地の状況

	建物敷地面積	運動場面積	その他面積	敷地面積	形状等
山田中学校	9,153 m ²	11,866 m ²	—	21,019 m ²	法敷なし。整形。
招提中学校	9,144 m ²	14,623 m ²	—	23,767 m ²	法敷あり。整形。

* 中学校設置基準面積 (運動場)

統合した場合の最大生徒数 (787人)	8,400 m ² (*721人以上=8,400 m ²)
---------------------	--

(山田中学校 配置図)



(2) 校区の状況

	統 合 校
	ア 招提中学校敷地に設置
不自然な通学 様態の有無	<ul style="list-style-type: none"> ・現状も同様であるが、一部の生徒が交通量の多い道路（杉田口禁野線）を横断して通学しなければならない。 ・一部の橋周辺の堤防は、人通りが少ない状況がある。
地形地物による 地域分断の有無	国道 1 号線（ただし、国道 1 号より東側は、工場や倉庫、店舗、農地であり、住宅地はない。）、府道枚方交野寝屋川線、府道杉田口禁野線、枚方高槻線、穂谷川（山田中と招提中の間に通っており、5 本の橋が架かっているものの地域を分断している。）あり。
校区における 学校の位置	東西方向及び南北方向の中央やや北東寄りに位置する。
通学区域の 広さ・形状	東西方向 2.2km 南北方向 3.1km で、長方形状
その他	—

沿革等	<ul style="list-style-type: none"> ・昭和 58 年 山田中に一部分離 ・昭和 60 年 招提北中に一部分離 ・昭和 61 年 長尾西中に一部分離
-----	---

4. 小中連携

	統 合 校
	ア 招提中学校敷地に設置
進学元小学校	交北小学校、山田東小学校及び招提小学校、平野小学校
「一小一中の」 接続関係の確保	確保できる。
小中一貫校（一体 型）の設置可能性	なし。
通学支援策等	—

5. 地域連携

(1) 自治会等の区域

- ・学校統合後の自治会分断の有無：なし

(2) 学校の沿革等

	山田中学校	招提中学校
設置年月	・昭和 58 年 招提中、中宮中から分離 開校	・昭和 48 年 第一中、第三中から分離 開校